

# 留 学 報 告 書

記入日：2014年4月6日

留学先国	タイ	
留学先大学・学部	(和) シーナカリンウィロート大学人文学部 (英) Faculty of Humanities, Srinakharinwirot University	
留学期間	2013年6月～2014年3月	
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)	
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)	
帰国年月日	2014年3月9日	
明治大学卒業予定年月	2014年9月	

留学費用項目	現地通貨(バーツ)	円	備考
授業料	24000	84000円	タイ語学校
宿舍費	180000	630000円	光熱費含む
食費	100000	300000円	
図書費	2000	7000円	
学用品費	0	円	
教養娯楽費	1000	3500円	
被服費	500	1750円	
医療費	10000	35000円	保険適用
保険費		120000円	
渡航旅費		180000円	
雑費		円	
その他( )		円	
その他( )		円	
その他( )		円	
合計		1361250円	

渡航関連	
渡航経路	羽田ースワナプーム
渡航費用	チケットの種類 1年 OPEN
	往路 -
	復路 -
	合計 180000
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
滞在形態関連	
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
コンドミニアム	
部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数：     ）
住居を探した方法	
現地掲示板でオーナーと直接交渉	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
少し予算を上げればライブラリーやフィットネスクラブ、プールなどのファシリティーがついた物件に住む区都ができます。留学生であれば月5000ー8000Bath ほどのシンプルなアパートもお勧めです。	
現地情報	
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した；皮膚科や簡易クリニックは構内にあります。	
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
交際連携事務室や明治大学 ASEAN センターの方に相談していました。	
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
大使館へ在留届を提出すればメールにて危険情報などを送ってもらえます。デモの開催地も詳しく記載されていたり、各国家施設などの稼働情報なども逐次送ってもらえます。	
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？ 例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。 基本的につながるが不具合も多くたまにつながらない時はある。	
現地での資金調達はどのように行いましたか？ 例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。	
現地に銀行口座を開設し日本から手持ちで最初に現金を大量に持っていきました。クレジットカードもよく切っていました。	
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
自分に合う医薬品	

## 進路について

進路

就職    進学    未定    その他：

進路決定の際に参考にした資料，図書，期間など

就職を選択した方は，差し支えなければ内定先を教えてください。また，その企業を選んだ理由も教えてください。  
(内定を得た企業すべての名前，あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

就職活動中・終了時に関わらず，就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。  
例：留学中の就職活動へ向けた準備，帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い，留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

就職活動が日本で開始された時期はまだタイにいるため，情報収集や説明会などはほかの就活生と差が出ます。自分の場合はタイで各志望企業に直接タイ語で電話し日本人とのOB訪問をしたりしていました。

進学を選択した方は，差し支えなければ進学先を教えてください。

進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備，試験対策等）がありましたらお書きください。

その他を選択した方は，留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数）。
6単位（2科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 3単位（2科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）

履修した授業科目名（留学先大学言語）	INTRODUCTION TO MASS COMMUNICATION AND DIGITAL MEDIAPRESENTATION
履修した授業科目名（日本語）	マスコミとデジタルメディアの導入
科目設置学部	COSC I
履修期間	1 s t セメスター
単位数	3単位
本学での単位認定状況	2単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	ジェサダ
授業内容	タイにおける ICT の現状やセンサーシップ、また各メディアの歴史などについて勉強した。
試験・課題など	中間と期末 課題レポートは随時
感想を自由記入	日本よりは少し時代が遅れているので、新しい知識を習得するよりは復習に近い形。ただタイのセンサーシップの現状などは興味深いところがあった。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	DISCUSSION AND PRESENTATION
履修した授業科目名（日本語）	ディスカッションとプレゼンテーション
科目設置学部	人文学部
履修期間	1 s t セメスター
単位数	3単位
本学での単位認定状況	1単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	ディスカッション
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	フィリップ
授業内容	テキストの内容に合わせたディスカッションやプレゼンテーション
試験・課題など	中間・期末試験あり
感想を自由記入	ネイティブの先生と話す機会や同年代のタイ人と英語で話すことができるので結構充実してた。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	JAPAN TODAY
履修した授業科目名（日本語）	今日の日本
科目設置学部	人文学部
履修期間	2 <sup>nd</sup> セメスター
単位数	聴講
本学での単位認定状況	単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	ナバシン
授業内容	今日本で起きている事件、政治、経済などをタイ語と日本語で解説
試験・課題など	大量にある。無い時はないがあるときは負担が大きい
感想を自由記入	日本が世界からどのようなみられているか、どんなところから注目されているか気づくことができた。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	INTRODUCTION TO JAPANESE TRANSRATION
履修した授業科目名（日本語）	日本語翻訳の導入
科目設置学部	人文学部
履修期間	2 <sup>nd</sup> セメスター
単位数	聴講
本学での単位認定状況	単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	アティナン
授業内容	日本語ータイ語の翻訳
試験・課題など	毎週
感想を自由記入	タイ語がある程度わからなければきつい。ただ耳を慣らすのには非常に有効だった。

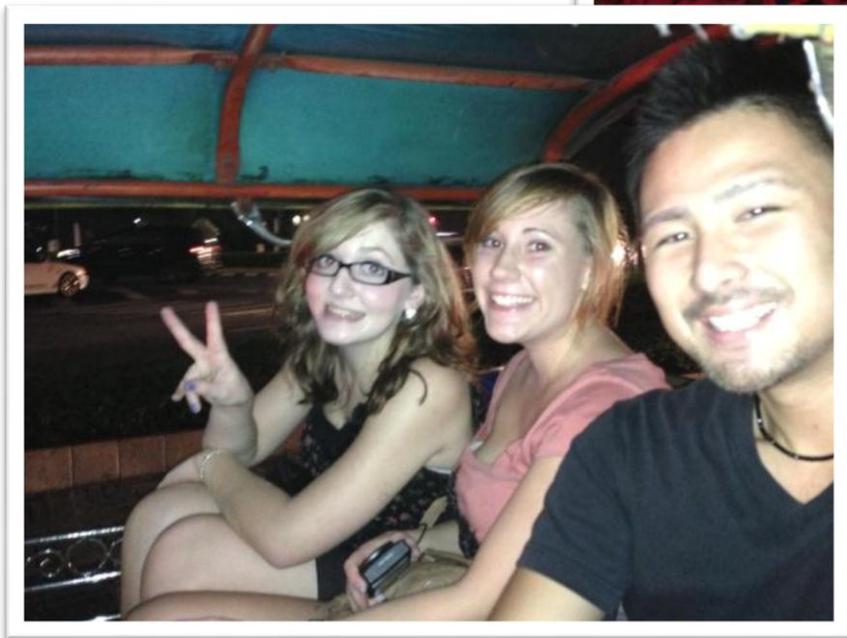
## 留学に関するタイムチャート

2013年 1月～3月	留学募集開始、書類提出、面接、留学決定
4月～7月	留学前研修、留学開始
8月～9月	1stセメスター、期末試験
10月～12月	中間休み、2ndセメスター開始
2014年 1月～3月	2ndセメスター終了、帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	もともと海外については全く興味がありませんでした。上京後外国の方と触れ合う機会や世界と日本と関係性の深さを勉強するたびに日本にいただけではだめだと気づきました。短期旅行を何回もしたとしても文化や価値観は学べないので長期にわたって生活することでそのような面について学びたいと思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	現地用語や現地の地理的、歴史的知識を勉強することです。日本のことについてももちろんたくさんのことを聞かれる機会がありますが、現地のことについてもどう思われるかということ聞かれることも多くあります。留学当初に困ることが少ないよう語学も少し身に付けた方がいいと思います。
この留学先を選んだ理由	ASEANはこれからの日本にとって特に経済面において重要な地域になると思ったからです。2015年にAECが発足しより一層の発展が期待されています。タイは日系企業が多く進出し、日本人にとっても非常に暮らしやすい国です。タイに協定ができたことも大きな理由でした。
大学・学生の雰囲気	有名国立大学であり、様々な国地域から留学生が多く在籍します。学部学科も非常に多くあり、ダイバーシティにあふれ活気のあるキャンパスとなっています。日本のキャンパスライフとは全くことなっただキャンパスライフで毎日が刺激的です。バンコク都中心地にあるため便利です。
寮の雰囲気	なし
交友関係	もともと短期留学で大学には友達が多くいましたので苦労することはありませんでした。また積極的に外で遊ぶことで他大学の友達や社会人と友達になることもできました。友達を作るには外で遊ぶことが一番重要です！！
学習内容・勉強について	人文学部タイ語学科に所属していましたがその他学部の授業も履修できるため履修していました。日本の大学生よりも圧倒的に勉強量が多いタイ人大学生は本当に伸びているのを実感しました。タイ語での授業にも出ることは苦労するところは多いですがものすごく力が付くと思います。
課題・試験について	課題はどの授業でもほとんど毎週出ます。考えることより、量をこなす感覚の方が強いです。試験はもちろん日本語ではないので、書き方、答え方には非常に苦労しましたが頑張って伝えようとすれば伝わります。また中間テストの比重も大きいのでまとめて期末前に勉強しただけでは難しいと思います。
大学外の活動について	大使館のソフトボールチームに助っ人で参加していました。現地駐在員の方に可愛がっていただきホームパーティーや交流会にもよく呼んでいただきました。またTOYOTAの工場見学や国連機関視察など留学生でもあまり体験できないことも様々な人々に頼み込んで行ってきました。
ある平日のスケジュール	7時：起床 8時：タイ語学校へ登校 9～12時：タイ語授業 13時：大学へ登校 14～18時：授業 19時：夕食 20時：予習復習 21時：ジム 22～24時：自由時間 1時：就寝

ある休日のスケジュール	7時；起床 8～11時：自由時間 12～13時：プール・ジム 14～20時：ショッピング 21～22時：予習復習 23時：就寝
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」ということ	留学は自分との闘いです。異なる文化・宗教・言語に毎日囲まれ日本へ帰りたと思う日が必ず来ます。しかしそこを乗り越えれば大きな成長が待っています。何も恐れることはなく常に前進していけば笑顔で帰国できます。がんばってください。



以上